



国土交通省 東北地方整備局 発祥の地

東北地方整備局の発祥が一関であったことをご存知でしょうか。

東北地方整備局の前身である内務省土木局第二区土木監督署が明治19年7月から同22年7月までの間、一関市田村町120番地に設置され、近代的な舟運を目的とした北上川水路改修工事や道路改築など東北

開発の根幹となる様々な事業の策定推進を図りました。やがて同22年7月仙台市に移転し、後の仙台土木出張所と名称を変え、その後幾多の社会的激動を経て、昭和23年7月建設省が設置され現在に至っています。



東北地方整備局発祥の地 碑



東北地方整備局発祥の地プレート



徒歩圏内にある
貴重な建築物!



■旧沼田家武家住宅

江戸時代後期、一関藩家老職沼田家の住宅。約300年の歴史をもち、当時の武士の暮らしを垣間見ることができる貴重な建物です。その他にも徒歩圏内には偉人達の銅像などもあります。一関市の歴史に興味のある方は散策してみてもはいかがでしょうか。

編集後記

皆さま、どんな夏休みを過ごしましたか？わたしは新しくできた気仙沼大島大橋を渡り、小田の浜海水浴場へ向かいました。透明でとてもきれいな海に感動しました☺(ま)